

2016

2号

# トトモニ

しおじり協働通信  
平成28年10月

ご自由にお持ちください

アイギ

2号  
2016

しおじり協働通信トトモニ 平成28年度 第2号 (10月発行)

TAKE FREE



## 特集『あの人とともに』

GoGlocal (ゴー・グローバル)

## 土屋みどりさん

塩尻から世界へ！  
英語で繋がる可能性はワールドクラス！

●しおじりまちづくり交流会 2016 開催！

●市民活動の無料相談受付中！

## 市民のみなさんへ お知らせ

### しおじりまちづくり交流会2016を開催します！

塩尻市内を中心に活躍する、NPO・市民公益活動団体や社会貢献活動を展開している企業の活動を広く市民の皆さんに知っていただく機会である『しおじりまちづくり交流会2016』を市民交流センターのフリースペースを会場として開催します。今年は市民の皆さまとの交流をメインテーマとして行います。ぜひ遊びにお越しください！

日 時：平成28年11月19日(土)、11月20日(日)

※両日とも午前10時から午後3時まで

場 所：塩尻市市民交流センター えんぱーく 3階 市民サロン

※多目的ホール、会議室等の個室を含む

※音楽練習室や学習室など一部の部屋の使用は出来ません



### 活動紹介のパネル展示

コミュニティマーケットプレイスGAZA 2階 / 10月24日(月)～11月7日(月)

ウイングロード1階及び市民交流センター 1階 森のコート内 / 11月7日(月)～11月18日(金)

しおじりまちづくり交流会当日会場 / 11月19日(土)、11月20日(日)

### NPO・市民活動の無料相談を受けています！

「こんなことしたい、できたらいいな」を応援します。実現に向けた最初の一步を、一緒に考えましょう！NPO法人えんのわのメンバーが、みなさんのサポートをします！

#### えんぱーく2階のフリーコミュニティで、ご相談受付中！

相談  
受付日

10月13日(木)、28日(金) / 10時～14時

11月14日(月)、29日(火) / 10時～14時

12月2日(金) / 18時30分～20時30分

12月9日(金)、22日(木) / 10時～14時

会 場：えんぱーく2階フリーコミュニティ



※市民交流センター市民営提案事業

市民公益活動に関する掲載記事やお知らせを募集しています！詳しくは、えんのわまで！

本誌に関する  
お問合せ先

発行 塩尻市市民交流センター 交流支援課

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350(内線4221)

E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp http://enpark.info/

編集 特定非営利活動法人 えんのわ

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320

E-mail:ennowa@hotmail.co.jp

## まちチャレ情報

塩尻市では、協働のまちづくり基金を活用して、新たなまちづくりの担い手となる団体や活動を応援する補助金を交付しています。平成28年度まちづくりチャレンジ事業（発展型：ステップアップ）では、公開選考会を経て6事業が採択されています。

### ① ことばキャンプ長野

助成額  
20万円

事業名 子どもたちの生きる力、コミュニケーション力育成事業

子どもたちがコミュニケーション力を育むことで、自尊他尊の人間関係を構築できる世代を育成する。

### ② 特定非営利活動法人

助成額  
20万円

NPOホットライン信州

事業名 信州ふれあい食堂

子どもたちが安心感と自己肯定感を抱ける居場所づくり。

### ③ ちび商人(あきんど)

助成額  
20万円

事業名 地元産の旬の「美味しい」を地元の皆さんに届けるプチマルシェ「ちび商人」

地元で取れた旬の野菜の消費拡大を図りながら、人と人のつながりを創出する。

### ④ さつき会

助成額  
20万円

事業名 勝弦(かつつる)地域魅力アップ事業

勝弦地域の魅力を高め、観光資源の整備を行うことで観光客の回遊、誘致につなげる。

### ⑤ 塩尻「学び」マネジメント

助成額  
20万円

事業名 塩尻「学び」マネジメント

子どもたちの主体的・協働的な「学び」を実践し、人間関係づくりと学力向上につなげる。

### ⑥ Go Global (ゴー グローカル)

助成額  
20万円

事業名 グローカル留学事業

市民の国際力の向上を図り、グローバル化に対応できる人材を育てる。

▼奈良井宿散策や漆器の見学などを行いました。



長泉寺で座禅や写仏を体験！▲



留学をした。「父に、留学に行かせて欲しい」と3ヶ月のプランで提案しました。反対されると思っていたのに、1年行け！とその場でプランを書き直されました(笑)。意気揚々と旅立ったが、待っていた言葉の壁は想像以上に高かった。「最初の3ヶ月はわからなくて、いつもシクシク泣いていました。でも4ヶ月を越えて半年と、だんだんわかるようになったんです」。

「まるで留学キャンプ」の1泊2日、一切の日本語が禁止だ。「わからないのは辛い。でも辛い中から得た力は本当に生きます。そして楽しい！その感覚をぜひ味わって頂きたいんです」。わかること、繋がる。異文化コミュニケーションの醍醐味を土屋さんは伝えている。



## トトモト 特集『あの人とともに』VOL.2

塩尻から世界へ！  
英語で繋がる可能性はワールドクラス！

## GoGlobal (ゴー・グローカル) 土屋 みどりさん

私をこの活動に突き動かしたきっかけはレタス農家の父親だった。こう振り返るのは塩尻市を拠点に英語コミュニケーションの活動を行うGoGlobal(ゴー・グローカル)の代表、土屋みどりさんだ。ゴー・グローカルは、塩尻の日本的な文化を日本人と外国人が一緒に体験することで、日本文化と塩尻の魅力を再発見しながら、国際力と異文化コミュニケーション力を高める目的で設立された。塩尻に居ながら、あたかも留学をしているような感覚が味わえる「まるで留学キャンプ」を年に2回、塩尻市まちづくりチャレンジ事業の助成を受けて開催しており、参加者の約半数は外国人で、ネイティブスピーカーが揃う環境を作っている。

通訳としても活躍する土屋さんだが、そのバックボーンには父親の影響が大きい。「父は、現在は洗馬で農業を営んでいますが、もともとは海外で違う仕事もしていました。それもあって、以前は海外農家の研修生も積極的に受け入れ、ホームステイで外国人が家に居るのが当たり前のようになっていました」。英語で外国人とコミュニケーションをとる父親の姿をみて、土屋さんは10歳で通訳への夢を抱くようになった。

父のように、生きた英語を身に着けたい、その思いから高校2年生でアメリカ・カリフォルニアへ1年間の単身

